



YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

YEG

遊悠No.43

遊ゆう 悠ゆう 倂ゆう 心ゆう

松山YEG広域PR特別号

◎巻頭特集

松山市長 中村時広 × 松山商工会議所青年部会長 井上幸一

坂の上の雲を目指して オンリーワンのまちづくり

- ・松山の夏、い組の夏
- ・YEGスピリット全開!! ビジネス最前線
- ・公開例会 まちづくり・ひとづくり
- ・松山繁盛塾「マツヤマドリーム」を目指して
- ・松山YEGビジネスマンつばき俳句
- ・松山YEGの歩み
- ・18年度事業一覧&トピックス

<http://www.matsuyama-yeg.com/>

○発行日/平成19年3月5日 ○発行所/松山商工会議所青年部 ○編集/PR委員会 ○所在地/愛媛県松山市大手町2-5-7 ○印刷/佐川印刷(株)

「まち」が元気であるために 最も大きな柱は産業の活性化

松山市長

中村時広氏

松山商工会議所青年部会長

井上幸一

1999年5月の市長就任以来、「みんなでつくろうみんなの松山」をスローガンに松山市政に新しい風を吹き込んだ中村時広松山市長。現在は、市民の期待に応えるべく「坂の上の雲のまちづくり」を熱心に推進しています。一方、松山商工会議所青年部は、井上幸一会長を中心に全国大会などのコンベンション誘致など対外活動やネットワークづくりに積極的に取り組んでいます。今後の松山の活性化に向けて忌憚のない意見を交わしました。

市民が楽しみながら 参加できる土壌づくり

●井上／中村市長が就任されてから7年が経過しましたが、松山というまちはどのように変わったと思われませんか？

■中村／変わったか変わらないかは、自分では判断できませんが、自分の目指すべき市長像に向かって努力をしてきました。市長の役割というのは二つありまして、まずはいろんな方の意見を聞き、いろんな情報を集めて、それを自分で咀嚼して、まちのブランドデザインを描くこと。絵でいったら下絵を描くことだと思っています。色を塗ったり、完成させていくのは、あくまでも住んでいる人々からです。もう一つの役割は、ブランドデザインを浸透させていく過程の中で、住民に

楽しみながら参加して頂く環境をつくること。突き詰めれば、市長の仕事はこの二つだと思っています。就任から7年余り、ずっとこの考えを遂行してきました。

●井上／市民の一人として、確かに変化が実感できます。特に市民参加の土壌は飛躍的に整備された印象があります。地方主権、地域分権が進み始めたというタイミングにもマッチしていたのではないかと、中村さんが市長になられて、ずっと硬直していた松山が随分変わったというか、新しくスタートしたと感じます。特に松山らしさを明確にできたことは大きいですね。

■中村／松山は全国でも有数の恵まれたまちなんです。まず温暖で災害が少ない。また人間が生きていく上で欠かせない食については、海の幸、山の幸がふん

だんにある。そして文化的な遺産、歴史、人、建造物だけではなく、面白いストーリーがまちに点在しています。松山は、住む、生きるということに関して、とても恵まれるまちだと思いますね。

勇気を持った企業と 企業家を育てていく

●井上／中村市長は、「坂の上の雲のまちづくり」を非常に熱心に進められています。

市民にも随分浸透してきたフリーズですが、あらためてその目指すところをお話しください。



中村市長



井上会長

■中村／人生は無限ではありません。どういう人生を歩むか、どう生きていくかは、一人ひとりに突き付けられた共通の命題です。そこを意識しないまま日々

暮らしているのが今の現実ですが、先人たちは限られた人生だからこそ何をすべきなのかという明確な志を持っていました。それが最も顕著だったのが明治時代だと思えます。実際に明治の松山に生まれた3人の人物が、そうした生き方を実践したのですから、それをお手本にしているというのが、「坂の上の雲のまちづくり」なんです。常に人生の価値を噛みしめながら生きる人々がいるまち、それが松山なんだということですね。

●井上／一人ひとりが、志を持てるまちにしたいということですね。そして個人だけではなく、企業や団体、グループも志を持って元気に活動していくまちということでしょうか。私たちの商工会議所は7000ほどの企業の集まりなのですが、その多くは中小企業です。リスクを考え過ぎて、なかなかチャレンジするこ

とができないんです。また、「小さなまちだから、新しいこと、飛び抜けたことをしている」と周りから何か言われるんじゃないか」という懸念もあるようです。

■中村／でも、そこを脱皮しないといけないと思いますよ。よそと同じことをやっていたのでは、成長していく可能性というのは非常に少ないのですから、チャレンジ精神は必要です。もちろん何にも考えないで突っ走るのは愚の骨頂ですが、成長のためには多少のリスクは付き物。確かな信念と周到な分析、そして明瞭な戦略を持って踏み込んでいく勇氣は絶対に必要だと思えますね。かつての日本人は、みんなその勇氣を持っていたんですよ。

●井上／なるほど。信念と分析と戦略ですか。そうしたことを学べる場を提供することこそ、私たち商工会議所青年部の



役目なんですね。今いる企業家たちの勇氣ある行動を応援し、新しい企業家を育てていく。そんな取り組みに注力していくことが、私たちにとっての「坂の上の雲のまちづくり」なんではないでしょうか。

市政にどンドン参加して ビジネスの活性化も実現

●井上／ところでこの堀之内ですが、四国がんセンターや松山市民球場、陸上競技場などが移転し、非常に広い敷地が残っています。今後、どのように活用していくのでしょうか。

■中村／ここは史跡の指定を受けていますので、市の方で自由にどうこうすることはできないんですよ。できることは二つしかなくて、一つは昔在ったものをそっくりそのまま復元すること。もう一つは簡易整備で芝生を敷き詰めること。もうこれだけなんです。だから、現実から言えば、広大なセントラルパークにするというのが一つの方向性ですね。

●井上／セントラルパークというのは非常にいいですね！JR松山駅からも松山市駅からもすぐ近いし、市役所の駐車場もある。ここで市民が自由にくつろいだり、スポーツを楽しんだりすることができれば最高ですね。ちよつとした松山の名所になりますよ。

■中村／管理面の問題もありますが、たとえば全体をエリア分けて、いろんな団体に管理して頂くという手法も考えられます。

●井上／私たち商工会議所青年部が一部を協力させて頂くのもいいですね。そん

な風に市民が市政、市のやることにどンドン参加して、結果としてビジネスも活性化します。そんな松山にしていきたいと強く思います。

■中村／参加するというのは本当に大事です。私たちの周りに、自分は参加しないのに批判的な意見を持つ人がいるでしょう？あれは良くないですよ。松山まつりにしても「よさこいや阿波踊りの方がいい」なんて言う人は、大抵、自分が直接見たり、踊ったりしてないんですよ。だから僕はまづ自分で行って、体験してみよう。そうしないと説得力がありませんから。

●井上／では是非、今年の松山まつりでは、商工会議所青年部の連に参加してください。非常に熱心に取り組んでいますから（笑）。今日、市長とお話しして松山は本当にいいところがいっぱいあるまちだと再認識できました。では最後に、私たち商工会議所青年部に対してメッセージをお願いします。

■中村／地方の生き残りのためには、まちが元氣じゃなくてはいけない。それを支えるいろんな柱の中で、最も大きな柱は産業の活性化なんです。産業を活性化させるために、青年部には「景気対策や産業経済政策は、行政がやるもの」とい



松山城二之丸史跡庭園にて

う発想を持たず、主体性のある、エネルギーギッシュな行動を期待したいですね。もちろん「自分たちはこうする。だからこの部分で行政もサポートしてくれ」という提案を持ってきて口説いてもらえば、ちゃんとサポートしますから。

●井上／私たち一人ひとりが、元氣な松山をつくるという氣概を持っていきたいと思えます。松山の子どもたちのためにも、今、いいものを僕らが築いて遺していかないとはいけませんね。本日は貴重なお話を本当にありがとうございました。

松山の夏、

『い組』の夏

松山まつりへの参画

松山商工会議所青年部（松山YEG）が松山まつりへの参画を始めたのは平成6年の夏に遡ります。当時の松山YEG大亀会長が松山まつり実行委員会から「松山まつり活性化として市営球場の南側を使って何か出来ないか？」という依頼を受けました。事業委員会の伊狩委員長が中心となり実施を検討し、「子供から大人まで楽しめる、昔ながらの縁日のようなものは？」というイメージから「YEGゲーム村」が誕生しました。実行組織は、昔ながらのお祭りイメージすると共に新しい第一歩という事から「い組」の「い」とつって「い組」と名付けられました。「い組」は特別委員会として、伊狩頭（かしら） 大西・坂野小頭（こがしら）を中心になかなか時間の中で事業を作り上げ、予想を超えた大盛況となりました。事業終了後の伊狩頭の胸上げは、忘れられない思い出です。その後、回数を重ねるに従ってメンバー手作りの新ゲームが増え、2日間でゲーム数はのべ1万5千回を数えるまでに成長し、8年間、松山まつりには無くてはならないイベントとなりました。



いざ、野球拳おどりに

「ゲーム村」を実施していく中で、「い組」は松山まつり本体の活性化を研究することになりました。寺院・仏閣・教育機関（大学など）を訪問し、まつりとは何かを研究し、活性化には、「参加したい！面白い！まつりづくり」が重要であることを報告書にまとめました。この報告を受け、松山YEGの「企画委員会」が研究を深め、「松山まつりを日本一のまつりに！」という、松山まつり活性化コンセプトを作成し、「野球拳おどり」に取り組むべく方向性が出されました。時を同じくして市営球場移転による「ゲーム村」最後の開催が決まり、「野球拳おどり」への参加が、「ゲーム村」のフィナーレかという議論になりました。終わるものよりこれからのことへ力を注ごう！という意志統一がなされ、「い組」の「野球拳おどり」参加が決定しました。

「い組」の苦悩

「度肝を抜くおどりを！」「い組」の田中頭以下メンバーの準備が始まりました。しかし、「ゲーム村」運営を行ってきたため「野球拳おどり」に参加したこともなく、素人の集まりです。「い組」の会議は何回も繰り返されました。曲、振付が出来、初練習では、体力がもたない、覚えられない、といった悲鳴が上がりました。練習の後、朝方まで議論をすることもたびたびあり、歴代頭を筆頭に高知までおしかけて「よさこい」の十人十彩の方にアドバイスをいただきました。その中で、大きな山車や太鼓との共演が提案され、松山YEGの人脈をフル活用し、おどりも仕上がり、山車、太鼓も完成、衣装も出来ました。でも気持ちのなかでもうひとつ何かが足りない気がしていました。



そして本番

本番の前日、堀之内で大雨の中、ずぶ濡れになりながら時間を忘れて公開練習を行いました。何か足りないと思っ
ていたものは一体感でした。当日、いざ本番という時「大
街道で火事！中止？」という情報が流れました。メンバ
ーが落胆する中、「なんとか踊れるようになった！」という知
らせが届きました。歓喜の中、踊りがスタートしました。
大街道会場は依然火事の後始末のため、使用できず、踊り
子と山車は既定のルートを外れ、車や人の大混雑の中をか

き分け、太鼓を鳴り響かせながら進みました。そして、千
舟会場の入口でやっと山車と踊り子が合流しました。みん
なで「いーっさ」の大合唱！山車・太鼓・踊り子・サポート
メンバーが一つになった瞬間でした。そしていざ審査会場
へ！みんなの気持ちが弾け、最高に輝いた笑顔と演技で観
客を魅了しました。会場を後にし、堀之内公園へ向かいま
おどりを披露しました。その夜は皆で最高に美味しいお酒
を飲みました。



さらなる飛躍

2年目からは、2月から全体のイメージ作りを始め、昨
年以上のものを演舞しようとする毎日毎日練習をしまし
た。太鼓にはYEGメンバーも参加し、手にまめを作りな
がら練習を行いました。また、審査連として本番に出場し、
「初優勝」「二連覇」の栄誉をいただきました。また、一般
市民の参加も増えました。道後温泉会場にもデビュー、
二十四時間テレビのチャリティー会場、愛媛県民文化祭で
の代表演舞など、多くの機会に
も恵まれました。そして昨年、
4年目は「い組で踊りたい！」
という一般参加者は60名にもな
りました。突然の雨にも負けず、
YEGの運営する「市民参加ど
ななんぞ」連とのコラボも試み、
そして、「優勝！YEGい組
連！」の発表をいただきました。
あらためて「い組」へご協力い
ただいた多くの方々にお礼を申
し上げます。



株式会社ヴィンテージアイモク



当社の前身は「アイモク」という材木屋です。基本的に材木屋は山から切り出された木を製材して、建築材料等に使用する為に販売します。しかし、環境の世紀と言われる21世紀

世界中で森林を伐採してCO₂の問題が叫ばれる中、木は法隆寺に代表されるようにシロアリにやられなければ長持ちする建築資材で、大事に使えば伐採されてから、100年後～200年後が一番強度が増します。

今まで「捨てる」ことが常識とされた、「古材」を買い取って、メンテナンスをして、捕縄も万全な状態で出荷することを仕事として現在全国で、40弱の材木屋さんを中心とした「FC」を展開しています。またその選り抜かれた古材等（ヴィンテージ建築資材）を中心とした、リフォーム、新築も「ヴィンテージリフォーム」「ヴィンテージホーム」としてボランティアチェーンとして全国展開しています。「環境ビジネス・古材を通して、全国の材木屋さん、中小工務店を元気にする」を合言葉に、社会公共性の高い事業を目指し愛媛から全国に向けて「古材市場の創造」をして参ります。

会長 井上 幸一

松山市南吉田町2821-4 Bizport A505

TEL 089-968-7768 FAX 089-968-7787

<http://ameblo.jp/kozai/古材屋の温故知新> 毎日更新中

「環境ビジネス・古材」を愛媛から全国、世界を目指して



「YEGGスプリット全開!!」

「ビジネス最前線」

愛媛から全国へ、先進的な取り組みを展開中又はオンラインワンサービスを展開しているYEGGメンバーを紹介いたします。

医療法人かとう歯科医院

デイサービスセンターきらり



当医院は平成2年に開業しましたが、患者さんの中にはお体の状態により通院が困難な方がいらっしゃいました。開業時の医師は私ひとりだけでしたので、来たくても来られない

患者さんの為になんとか訪問診療ができないものかと考えました。そして、平成10年から医師を増員して訪問診療を始め、今では4名の医師で院内診療と訪問診療を行っています。また、平成14年に「デイサービスセンターきらり」を立ち上げました。そして、平成18年には「いやし処きらり」を立ち上げ、こちらでは美容と健康の為の三つのサービスを提供しています。一つ目は厳選された薬湯の薬足湯。二つ目は日本成人病予防協会が唯一認めたアルカリ還元水。飲むと体のサビを洗い流せます。三つ目が仙骨整体。背骨や骨盤のゆがみの究極の原因は腰にある骨格の中心の仙骨です。この仙骨の拘束状態を改善して体の歪みを取り除きます。その結果、血液やリンパの流れが回復し、自律神経の麻痺も改善され、内臓器官の生命力が高まり、多くの症状が自然に消えていくのです。新しい整体施術をお試し下さい。

例会委員会 加藤 弘正

松山市高岡町209-3

TEL 089-972-7878 FAX 089-972-7788

<http://www.dsc-kirari.com/katou/>

歯医者さんがご自宅・施設へ訪問いたします

有限会社愛媛サポーターズ



東京に住む愛媛県出身者には強い郷土愛を持っていて、愛媛産の水産物や農産物を食卓や宴席で味わいながら、愛媛の話で盛り上がりたい、愛媛県産物をもっと東京で見つけた

という熱い思いの人が多くいます。

一方、愛媛では美味しく安全で環境に優しい水産物や農産物を作りながらも販売チャネルが乏しく、首都圏への販路が拡大していかないという悩みを持つ生産者の方がおられます。このような双方のニーズをイベントなどでマッチングし、東京に愛媛県産物の新商圏を創ろうというのが愛媛サポーターズの使命です。現在では都内在住の方を中心にサポーター会員として370名余りの方に入会して頂いており、愛媛県側事業者であるサプライヤー会員には21社入会して頂いております。地元有力者やメディアの心強いバックアップもあり、今後益々の増員を目指しています。定期的にサポーター活動を応援するイベントを都内ホテル（写真）やレストラン、ゴルフ場等で開催しており、愛媛を楽しんで頂きながらネットワークを広げ、愛媛の知名度向上に力を注いでいきます。

IT委員会 那須 紗代子

松山市喜与町1-6-2 きよまちマンション801

TEL 089-934-1566 FAX 089-934-1566

<http://www.e-supporters.co.jp/>

私達は東京を通じて愛媛をPRしています

有限会社ティーカンパニー



当社は現在、直接海外から仕入れた中四国で唯一のブランドを取り扱う店舗を含め9店のブティックを松山で展開しており、2005年からの新しい取り組みとして自社ブランド

「Fleur de lis」(フラデリ)の企画・デザイン・製造販売を開始するとともに、松山市郊外にその直販店をオープンしました。これは、アパレル業界の不況とともにメーカーサイドの原価施策による質の低下が私にとって大きな不満要素となり、ならば自社で製造・販売すれば、良質の維持もでき、お客さまに本当に満足いただけるものを提供し続けられると考えたからでした。

郊外型にしたのは、このお店の顧客になっていただきたい30代の女性が、地方では自家用車で移動するため、駐車場のあるお店で、ゆっくりとお買い物ができることが大きなメリットであろうと考えたからです。このお店は当初の計画よりも順調のびており、今後、フラデリのメンズ・キッズの商品開発と併せて、この展開を県内外に進める予定です。

全国大会調査委員会 田中 竜二

松山市南吉田町544-1

TEL 089-972-0834 FAX 089-972-0834

<http://www.fleurdelis.co.jp/> (Fleur de lis)

<http://www.boisdexu.com/> (Bois de xu)

良質の商品を提供し続けるために自社ブランドを

株式会社ジョー・アメニティ



当社は2006年11月1日より朝生田のジョー・プラ内に総合不動産として出店いたしました。現在四国4県に9店舗、岡山と福岡に管理事務所を各1店舗で運営させていただ

ております。

店内は従来の「不動産会社」というイメージよりはまるで「カフェ」を思わせるような内装で、松山では珍しい「海外」や「沖縄」などの物件も取り扱っています。今まで興味があってもどこへ問合せたらよいかわからなかった貴方、そんな悩みもジョー・プラに来て頂ければ一気に解消です。もちろん従来以上に松山市内の賃貸、売買の物件も取り揃え、幅広くお客様のご要望にお応えできる体制を整えています。

また、コンプライアンスを重視した実務者の育成を目的として当社では「不動産ビジネスカレッジ四国校」も運営しておりますが、こちらも2007年5月からより充実した研修を行えるように計画中です。さらに2006年からISO14001の認証取得に向けての活動も行ってまいります。今後とも地域に貢献できる活動を積極的に行ってまいります。

総務委員会 姉川 誠

松山市天山3丁目14-25

TEL 089-933-4030 FAX 089-933-4270

<http://jow-amenity.jp/>

快適住まいの提案ジョー・アメニティ

有限会社リフレンタープライズ



落ち着いた雰囲気の中に心地よいBGM アロマの香につつまれて…。疲れたからだを自然なカタチにもどします。ストレスに生きる現代人が求める「快」をリフレのオリジナル技

術が提供致します。

現在マッサージ業界はさまざまな形態をとりながら発展しております。ハンドリラクゼーションもその長い歴史の中で皆様の心身をリフレッシュさせるオリジナル技術として誕生しました。

弊社は2000年3月松山全日空ホテル内に第一号店をオープンし、現在まで大型商業施設を中心に愛媛県内に5店舗、高知市、姫路市、宮崎市に各1店舗の計8店舗展開しております。会員数はおかげさまで7万名を超え、半数以上の方にリピーターとしてご来店頂いております。私たちは人との関わりを原点とし、スタッフひとりひとりの人間性を高め、地域社会になくはない存在である事を目標としています。私たちの仕事は技術職ではありませんが、人と人が直接接する仕事として、ハート(優しさ、思いやり)を第一にスタッフひとりひとりが「元氣」を発信しております。

IT委員会 増田 一孝

松山市二番町3丁目10-6

TEL 089-921-3804 FAX 089-921-3804

<http://refre-e.jp/>

あなたの求める癒しがここにあります

伯方塩業株式会社



神田川俊郎さんのCM等で全国的に有名になった「伯方の塩」。いまでこそ広く知っていただいておりますが、その誕生は消費者の安全と伝統的食味を求める草の根運動からでした。

1971年に「塩業近代化臨時措置法」が成立し、1972年に塩田が全廃され、日本人が永年慣れ親しんできた塩田製の塩がなくなり、「イ

オン交換膜製塩」に切り替わりました。このことに疑問をもった消費者が自然塩の存続運動を全国的に展開し、その結果、国から国が輸入する天日塩田の塩を原料にすることを条件に「特殊用塩」として製造・販売が認可され、1973年、存続運動のメンバーによって、最後まで塩田が残っていた伯方島で「伯方の塩」の生産を開始しました。以後30年余続けてくることができましたが、良い自然塩を残そうと立ち上がった創業時と同じ理念に燃え続けながら、塩づくりに取り組んでいます。現在工場は伯方、明浜、大三島にあり、大三島工場は一人からでも無料で見学できます。

全国大会調査委員会 石丸 一三

松山市萱町4丁目4-9

TEL 089-922-2560 FAX 089-922-9669

<http://www.hakatanoshio.co.jp/>

全国的な消費者運動で誕生した伯方の塩

公開例会

まちづくり・ひとづくり

次世代へつながらる街の活性化
今私たちが出来ること。

講師：今村 克彦氏
日時：平成18年10月20日（金）19時～21時
会場：東京第一ホテル松山 2階 コスモホール



今村 克彦氏

プロフィール



2006年3月、24年間勤めあげた京都府教師の座を迷うことなく捨て去った。『共育者』として進むために安定した公務員『教師』を捨てた。地域の人々同士を繋ぐため踊り講習・イベントや祭り、その他色々な行事を紡ぎ出すプロデューサーとして、又、各地に散在するよさこいチームと人々を繋ぐプロデューサーとして活動する。共育者にしてプロデューサー、イベントクリエイターにしてアーティスト…『共育』をテーマに今村は常に走り続ける。

略歴

1957年 京都府相楽郡和束町に生まれる
1980年 奈良県天理大学卒業
1981年 京都府教職員（小学校教諭）赴任
1999年 京都生活指導研究協議会常任委員就任
2001年 全国生活指導研究協議会全国委員就任
2006年 京都府教職員退職（3月）
2006年 九州立花高校ダンス講師・教育アドバイザー就任（4月）



野村副会長開会宣言の後、国歌、伸び行く大地を斉唱、繁盛委員会の金子委員が綱領指針を朗読。続いて、新入会員の入会式を行った。今回出席の新入会員へ会長よりバッジが渡され、激励の言葉が交わされた。各委員長より活動報告と委員会活動に対する協力依頼が実施され、井上会長挨拶の後、講演に移った。

講演は「次世代へつながらる街の活性化」というテーマで、九州立花高校講師の今村克彦氏の講話が行われた。内容は以下の通り。

最初に、「教育に携わっている関係で、どんな人間でないといけないのか、若者どう付き合っていくか、という話題が中心となるので、その中からヒントを掴んでいって欲しい。居眠りをした人は、どんどん当てていきます。」とユーモアを交えながら講演が始まりました。現在、いじめを含む教育問題が取り上げられており、教育再生会議が結成されているが、現場の人間が入っていないためきつと失敗するだろうとの事。「いじめによる自殺者はゼロとなっているが現実には、校長がいじめがある事は恥ずかしい事として、ひた隠しに

している現状がある。いじめはどこでもあるものとして始めないといけない。」やはり、15名の中に5名は小中高の先生が必要ではないかとの事。先日行った滋賀県の中学校での講演に触れ、「生徒たちが大騒ぎをする中、先生たちも注意をしない。そこで『聴く気ない奴は外へ出る！』と一喝したところ、あれだけ大騒ぎだった会場がシーンとなった。言う事を聞かない若者たちも大人が本気になればまだまだ出来る。これからの街づくりは15歳位の人たちを育てていかないと活性化には繋がらない。このままほっておくとどんどんひどくなっていく。若者による犯罪は罰則を厳しくしただけでは減少はしない。責任を追究していくように指導していかなければ減少しない。若者に対しては、許す、自分の価値観を押し付ける、妥協するのではなく、個々に応じた指導をしていかなければならない。最後にキーワードは『受容』、まず、飲み込んであげる。共感してあげる事。一番悪い事は共感しているフリをする事。『レッツ』、とにかく一緒にやってみよう。という考え方が重要である。」と述べられた。続いて質疑応答を行い、講演が終了した。その後一般参加者向けに総務委員会より、YEG活動についての説明が行われ、横山副会長の閉会宣言により公開例会を終了した。

「マツヤマドリーム」を目指して

第2回 松山繁盛塾 パネルディスカッション ～商売繁盛と地域活性化～

日時：平成18年7月21日（金） 19:00～20:50 会場：コムズ5F 大会議室 松山市三番町6丁目4番地20

「松山繁盛塾」は繁盛委員会の事業として昨年度より立ち上げられ、松山で元気のいい企業のトップから、事業における「繁盛」のヒントや熱い思いを共有してモチベーションアップを図ることを目的としています。



二回目となる今回は松山を拠点に、地域の魅力を全国に発信しておられる方々というテーマで開催しました。

パネラーには進級ボランティア事業団・(株)世界地図代表 松岡功氏、(株)エリアレボリューションズ社長 渡部敏弘氏、NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク代表理事 福岡晋也氏を迎え、司会進行は松山YEG IT委員会委員長 佐俣一志が務め、70名の一般参加を含む計120名が集まりました。

松岡氏は現在カンボジアで井戸を掘るボランティア事業を展開しています。これはカンボジアでは飲み水が整備されておらず、子供たちが川の水を沸かして飲んでいる現状を憂い、「何よりもまず大切なのは水だ」と松岡氏が感じたことに端を発しています。今後はクリントン前大統領にも絶賛された独自の世界地図の販売を財源とし、世界中に22万基の井戸を設置するという壮大な夢もご披露頂きました。また、「平和の使者」としてギリシャ・オリンピア市に特別に認定され、坂村真民氏の「念ずれば花ひらく」の碑をオリンピアの中心地に設置したエピソードでは会場から驚きの声が挙がりました。

渡部氏は、IT企業の取締役として都会で事業を展開してこられました。40歳を過ぎてから故郷への愛着が強くなり、愛媛の素晴らしい食材を全国へ提供する会社を立ち上げられました。「これからは第一次産業の時代だ」という氏の話には客席の多くの人が深くうなずき、興味深く聞いてい

ました。食糧の自給率が低い日本において愛媛に住む我々にはごくごく当たり前になっているものが、実は大消費地である都会の人にとって高い価値を持つものが多くあり、それが失われることのないようにスポットを当ててあげることで商機が生まれるというビジネスプランはまさに「マツヤマドリーム」を体言するものといえるでしょう。

福岡氏は映画「世界の中心で愛をさけぶ」やドラマ「がんばっていきまっしょい」など映像作品のロケを誘致するNPO活動を通じて愛媛の魅力を対外的に発信しています。そのロケ時の裏話や苦労話には客席も興味津々で聞き入っていました。福岡氏は誘致した作品が多くのファンを生むことによってそのロケ地への波及効果を活かしたビジネスの展開にも意欲を見せておられました。

中盤からは司会進行の佐俣によって会場の参加者も巻き込んで「愛媛が全国に誇る魅力」や「地域の特性を商売に活かす方法」などについて活発な議論が交わされました。パネラーの方々の間でも互いの事業に対して質問が飛び、アプローチはそれぞれですが、同じ熱い思いを持つ方々であることを実感しました。

終了後、参加者にお願したアンケートからは「松山でこのように全国・世界に向けて情報発信している人がいることを知らなかったが、非常に勉強になった」「自分がこれからやろうと思っているビジネスの参考になった」などの声が聞かれました。

多くの方々のご協力を頂き、今回も繁盛塾を開催することが出来ました。寄せられた意見を参考に、今後も商売繁盛のヒントやモチベーションアップに繋がる事業を、市民も巻き込むかたちで継続させていきたいと考えております。



パネラー



進級ボランティア事業団・(株)世界地図
代表 松岡 功氏



(株)エリアレボリューションズ
社長 渡部 敏弘氏



NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク
代表理事 福岡 晋也氏

司会進行



松山商工会議所青年部IT委員会
委員長 佐俣 一志

「松山YEGビジネスマン つぶやき俳句」

俳句の街松山を代表して、松山YEGメンバーの隠れた才能を一部ご披露させていただきます。



【最優秀賞】

青年部 気付けば俺も 中年部

IT委員会 増田 一孝

【優秀賞】

「誰だっけ？」 笑顔絶やさず 探り入れ

繁盛委員会 越智 亮介

【佳作】

カジュアルデー センスの無さが もろに出る

PR委員会 横山 ぬい

二次会が 本番じゃだめよ 委員会

繁盛委員会 越智 亮介

妻の勤 テポドンよりも 正確だ

IT委員会 増田 一孝

二日酔い 二度と飲むかと 迎え酒

PR委員会 田中 秀樹

今日もまた 上司の言葉に 騙されて

PR委員会 大野 哲也

【おしかったで賞】

- ・ 売れなくて 帰社できぬまま 直帰する
- ・ 二次会の 記憶が無いのに 領収書
- ・ 私服見て 誰だかわからん 従業員
- ・ 月一回 「ごくろうさま」は 給料日
- ・ 離席中 着信音に 笑われる
- ・ 会社でも 得意先でも 頭下げ
- ・ 元彼が 営業に来て つい購入



いかがでしょうか？共感できる俳句もあつたはず。各賞については松山YEG役員会にて、厳正な投票の結果、決定いたしました。皆様も、子規さん気分では非一句いかがでしょうか。

松山YEGの歩み

～松山YEG設立の経緯～

平成2年当時、愛媛県内の各商工会議所にはすでにほとんど青年部があったが、松山商工会議所には青年部がなかった。当時の松山商工会議所の榊田三郎会頭の「青年部を作ろう!」という声により、初代会長となる松井逸材氏らが、当時の商工会議所にあった組織「青年塾」と「流通業交流懇談会」を母体として松山YEGを立ち上げた。

■ 平成2年度

平成2年4月4日 松山YEG発足

設立当初の会員数は83名。予算が少なく、家族交流会など会員相互の交流を中心に活動を行っていた。活動内容についても手探り状態であったが、県都松山の商工会議所に青年部が誕生したということで各方面からの期待も高かった。



初代会長
まつい 逸材
松井 逸材
平成2年～平成3年度

■ 平成3年度

スローガン 「切磋琢磨」

松山まつり活性化のため堀之内で行われているチャリティーバザールに参加。後に松山まつりに積極的に参加するきっかけとなる。

■ 平成4年度

スローガン 「研鑽と飛躍」

平成4年10月30日新入会員を対象とする第1回オリエンテーションを開催。

以後新入会員に青年部の組織・事業等について理解を深めてもらう活動として定期的に行われるようになる。(現在の新入会員研修会)

平成4年度に発足当初の目標である100名会員を達成する。



二代会長
よこやま 博幸
横山 博幸
平成4年～平成5年度

■ 平成5年度

スローガン 「融和と拡大」

行動指針「誠(誠実)・粘(粘り強さ)・武(礼節)」

■ 平成6年度

スローガン 「ふれあいから研鑽へ」

平成6年8月 松山YEGがその全ての運営を任せられることになった松山まつりのYEGゲーム村の開始。松山まつりの大きなイベントとなり、平成14年まで続くこととなる。

「YEG松山まつり運営協議会会長」として伊狩泰介氏が就任。(後の「い組頭」)



三代会長
いか 泰介
大亀 右関
平成6年～平成8年度

■ 平成7年度

スローガン 「さらなる研鑽、大いなる飛躍をめざして」

平成7年8月 YEG松山まつり運営協議会を「い組」と改称。年末から行われる堀之内をライトアップする松山ライトアップ実行委員会に参加協力する。

■ 平成8年度

スローガン 「愛媛の集う力で団結を」

平成8年6月22日、23日 松山YEGが第15回商工会議所青年部愛媛地区会員大会を開催する。(会場 松山総合コミュニティセンター)

大会スローガン「愛媛YEG、全員集結、松山でみせよう愛媛の団結力」

初めて松山YEGが愛媛県会員大会の事業を実施する。

「地域の活性化」「国際化を考える」「情報化・インターネットについて」などをテーマに活発な議論が行われる。

■ 平成9年度

スローガン

「人・夢・ロマン」～時流適応型のまちづくりをめざして～

堀之内をライトアップする松山ライトアップ事業について松山YEGが運営を任せられることになる。

松山YEGの卒業生で結成される「松山YEGマスターズクラブ」設立。



四代会長
うゑだ 善文
戸田 善文
平成9年～平成10年度

■ 平成10年度

スローガン

「人・夢・ロマン」～時流適応型のまちづくりをめざして～

会員の年齢制限を45歳以下から49歳以下に引き上げる。

■ 平成11年度

スローガン 「バーチャルコーポレーションYEG」 ～業種を越えてよりグローバルに～

この年より通年ビジョンである「会員企業の発展 それに伴う地域経済の活性化」をとり入れた。バーチャルコーポレーションYEGとは、会員企業同士のビジネスチャンスを広げ、YEGを仮想企業としてよりダイナミックなPRや事業戦略を進める活動。平成11年度松山まつり い組頭に大西浩司氏 就任。(平成13年度まで)

平成12年2月26日 10周年記念式典開催。(10周年記念事業)

平成11年度より松山まつりのあり方などを協議する松山青年会議所との「Y」懇談会が2ヶ月に1回開催されるようになる。



五代会長
いかり 泰介
伊狩 泰介
平成11年～平成14年度

■ 平成12年度

スローガン 「バーチャルコーポレーションYEG」～共生による波及を目指して～

各委員会名、事業内容を見直す作業が行われる中、対外的に地域経済の活性化に取り組むための新委員会として企画委員会、会員企業同士のビジネスを積極的に展開するための新委員会としてVC委員会(現在の繁盛委員会)を設置する。

■ 平成13年度

スローガン 「バーチャルコーポレーションYEG」～自立による価値の連鎖～

松山の知名度を高めるためフィルムコミッションに松山YEGが組織としてかかわるようになる。企画委員会がこの活動を具体化するためアジア・フィルム・ネットワークの立ち上げを行う。

■ 平成14年度

スローガン 「バーチャルコーポレーションYEG」～200人体制によるパワーの集結～

松山YEGの対外広報活動も兼ねた新入会員増強活動を活発に行い、当面の目標であった会員数200名を達成する。

■ 平成15年度

スローガン 「ゴー・ゴー・タートルズ」

(亀は常に前に向かってしか歩けない、後ろに下がることができないことから)

松山まつりの活性化を目指して、初めて「松山まつり野球拳おどり」に参加し、松山まつりの堀之内おどり会場の運営を松山YEGが行う。

松山YEGの野球拳おどりは奇抜な衣装と振り付け、4月から8月までの練習、企画に取り組んだ集大成が観衆の注目を集める。



六代会長
おおいし 浩司
大西 浩司
平成15年～平成16年度

■ 平成16年度

スローガン 「ゴー・ゴー・タートルズ」

松山YEGが松山まつりの本事業運営へ参画。

松山まつりの野球拳おどりに2年連続参加、松山YEGが中心となって組織する「い組」連が念願の優勝をする。

松山まつり野球拳おどりにおいて、一般市民が自由に飛び入り参加できる「市民参加どなんぞ」連の企画運営を行う。

■ 平成17年度

スローガン

「Be Strong and Enjoy YEG」～全国大会への挑戦～

松山まつり野球拳おどりにおいて「い組」連が2年連続の優勝を達成する。

「市民参加どなんぞ」連が参加人数1,000名に達し一層の盛り上がりみせる。



七代会長
さかわ 正純
佐川 正純
平成17年度

■ 平成18年度

スローガン

「原点YEGスピリット・広がるYEGネットワーク」



八代会長
いのうえ 幸一
井上 幸一
平成18年度

平成18年度事業一覽

2006 SLOGAN

原点YEGスピリット・広がるYEGネットワーク

井上会長所信

今年度のスローガンには、YEGの精神というものをもう一度掘り起こし、会自体のスピリットを忘れないようにしていきたいという思いを込めています。200名体制を土台に、250名体制にチャレンジし、YEG最大の事業である全国大会を誘致し、我々の力で多くの人に松山へ来ていただく取り組みを実現させたいと考えています。

平成18年度トピックス

- ・全国大会調査委員会・IT委員会・PR委員会の3委員会を設立
- ・平成19年の愛媛県大会に向けて県大会実行委員会を設立
- ・全国大会誘致と県大会実行委員会立ち上げの臨時総会開催

H18

例会

対外事業

レクリエーション

4

通常会員総会・4月例会

- 4月19日(水)
- ・平成17年度事業報告並びに収支決算報告について
- ・平成18年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- ・理事の選任について



遊悠杯
5月13日(土)
パークゴルフ
坊っちゃん劇場観劇

5

6月例会

- 6月21日(水)
- 「知らないと損する新会社とは」
- 講師：篠藤 悟氏(篠藤悟司法書士事務所)
- 兵頭 弘章氏(ジャパンビジネスパートナー)
- ・5月施行の新会社法のポイントをわかりやすく紹介

松山商工会議所女性会総会参加

- 7月5日(水)
- 「できるやんか！一人間って欠けているから伸びるんやー」
- 講師：中井 政嗣氏(千房㈱代表取締役)

第25回商工会議所青年部愛媛地区会員大会

- 7月15日(土) 場所：愛媛県西条市
- 記念講演
- 「不可能を可能にする経営哲学」
- ～今こそ企業アイデンティティ 共に成功する発想学
- 講師：岡野 雅行氏(岡野工業代表社員)



6

7

8月例会

- 8月21日(月)
- 「経営者の資産運用」
- 講師：西岡 和則氏(ファーストコンサルティング、マスターズ代表幹事)
- ・適切な資産運用の方法について紹介

第2回松山繁盛塾

- 7月21日(金)
- 「マツヤマドリーム」をめざして
- ～商売繁盛と地域活性化～
- ゲスト：松岡 功氏(進級ボランティア事業団・(株)世界地図 代表)
- 渡部 敏弘氏((株)エリアレボリューションズ 社長)
- 福岡 晋也氏(NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク 代表理事)

8

9

臨時会員総会

- 9月21日(木)
- ・全国大会誘致について
- ・(県大会)特別事業基金設立並びに県大会実行委員会立ち上げについて

第41回松山まつり参画

- 8月12日(土)・13日(日)
- 「い組」連
- 「市民参加どななんぞ」連



愛媛県商工会議所青年部
連合会スポーツ交流会
9月9日(土)
スポーツ交流会
(ヨガ体験)

10

10月例会(公開例会)

- 10月20日(金)
- 「次世代へつなげる街の活性化 今私たちが出来ること。」
- 講師：今村 克彦氏(九州立花高校講師)
- ・教育現場の現実はどうなっているのか
- ・若者を育てることが街づくりの活性化につながる



第23回商工会議所青年部四国ブロック大会 高知大会

- 9月2日(土) 場所：高知県高知市
- 記念講演：「チャンピオンの条件」
- 講師：上村 春樹氏((財)全日本柔道連盟 専務理事)



11

臨時会員総会・12月例会・忘年会

- 12月21日(木)
- ・次年度役員について
- ・規約改正について

経済懇談会

- 10月11日(水)
- 「街づくりは店づくりから」
- ゲスト：奥村 武久氏(大和屋本店 代表取締役)



大洲商工会議所青年部 設立30周年記念大会参加

- 10月14日(土) 場所：愛媛県大洲市
- 大会テーマ
- 「30年の感謝と継承 企業の活力が街の活力、輝ける未来へ向かって進め大洲YEG」

H19

1

2

3

2月例会

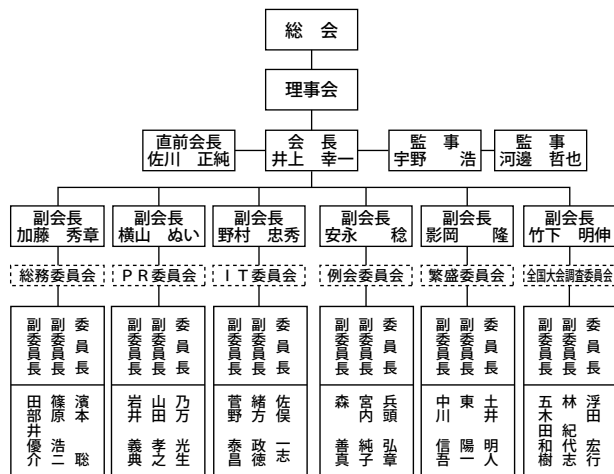
- 2月21日(水)

日本商工会議所青年部 第26回全国大会大分大会

- 11月10日(金)・11日(土)
- 場所：大分県大分市
- 大会テーマ「Love&Earth ～YEGの恵みと大地の恵み」
- 記念講演：「日本経済の発展とこれからの企業に求められるもの」
- 講師：宇野 郁夫氏(日本生命保険相互会社 代表取締役会長)
- 辻 亨氏(丸紅(株) 取締役会長)

「YEG対抗ソフトボール大会」
～四国Yランドリーグ～
11月18日(土)





- 総務委員会**
 - 活動概要
 - 250人体制へ発展及び組織体制の強化
 - プレミーティングの充実
 - 新入会員歓迎会の実施
 - 会員名簿、会員名刺の作成
 - 会員募集チラシの企画・作成
 - 委員長会の開催
 - 幹事会の開催
 - 経済懇談会の開催
- 繁盛委員会**
 - 活動概要
 - 「松山繁盛塾」の開催
 - 「松山繁盛メール」の配信
 - 「繁盛御意見番」の開催
- PR委員会**
 - 活動概要
 - 広報誌「遊悠」の発行
 - YEG活動のPR(YEG EXPRESS、記者クラブへのニュースリリース)
 - PR用品の検討
 - YEG活動の記録・保存
- IT委員会**
 - 活動概要
 - ITニーズ調査
 - 対外ホームページの開発・知名度UP
 - mahooo!の改訂・知名度UP
 - エンジェルタッチの普及
- 例会委員会**
 - 活動概要
 - 総会・例会の企画運営
 - 公開例会の実施
 - 総会・例会の出席者満足度アップの実施
 - 総会・例会時の出席動員及び出席率の把握開示、バッジの着用の徹底
 - 忘年会及び総会・例会の懇親会の企画運営
- 全国大会調査委員会**
 - 活動概要
 - マスターズクラブとの交流窓口
 - 対外的交流事業
 - 全国大会の調査・研究
- 県大会特別委員会**
 - 活動概要
 - 県大会実施に向けた活動
- 松山まつり特別委員会**
 - 活動概要
 - 松山まつりの実施(「い組」「市民参加どなんぞ」連)

はじめまして!!

Matsuyama-yeg.com

松山YEGのホームページといえば、お馴染み「Mahooo!」(マホー) ※松山のこならお任せの情報満載。ポータルサイトとして皆様にご利用してもらっています。感謝!!

その「Mahooo!」に兄弟分が登場!!

それは www.matsuyama-yeg.com/

私たちの松山YEGのことをもっと知っていただくために、事業活動をタイムリーにご紹介します。話題のブログも掲載、ご愛顧くださいネ。

おもしろコンテンツ

ご存知Mahooo!もグレードアップ。松山のおもしろブログも満載です。



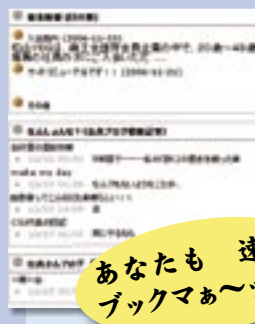
なるほどコンテンツ

もっともっと知って欲しい、私たちYEGのことを。そこには会員も知らない秘密が。。。



あたらしコンテンツ

会員のナマの声を届けます。社員さんのナマの声だって!!



あなたも速攻ブックマあ〜ック!!

YEG 松山商工会議所青年部 会員募集中

明日の地域経済を担い、自由に経済活動を行う200人規模の青年経済人団体「商工会議所青年部」です。

YEGの活動概要

- 「原点YEGスピリット」広がるYEGネットワークをスローガンに、会員企業の「情報と営業」の共有を図ります。
 - 人脈が広がればビジネスチャンスが生まれ、事業拡大に繋がる可能性があります。
 - 一人では得られない情報と知恵を得て切磋琢磨し、それぞれが成長する団体を目指します。
 - 経済交流事業・異業種間の情報交換・地域経済発展のための講習会の開催
 - 他団体との交流や研修会・研修旅行の実施
 - 松山まつりへの参加・協力
 - 「入会資格」松山商工会議所会員事業所の経営者又はその後継者、並びに代表者から推薦のあった従業員。満年齢20歳以上49歳迄の方となっております。
- お問い合わせ 松山商工会議所内地域振興部
TEL 089・941・4111
FAX 089・947・3126 担当 西畑

編集後記

仕事より ニラミきかせて 文字校正 女ボス
 大切に 間に合わないのは 折込済み チラシ
 取材して 知るメンバーの 屋の顔 いくし
 長年の 思い出懐かし 青年部 SS
 広告を ありがとその倍 もうけてね 酔っ払い
 青年部 すごさわかった 四ヶ月 AXA
 知らぬ間に 原稿出来た ありがとう ナマケモノ
 内外の 交渉ごとに 右往左往 特攻野郎
 編集の 厳しさ知った この一年 新聞社
 重箱の 隅をつついて 午前様 赤ペン
 本当に 出来上がるのか 五里霧中 みつ
 いびきかき 時々起きて 原稿書き 睡眠魚
 腹減った 編集会議 上の空 ガンヲタ
 痛み上がり 傷をおさえて ハイチーズ 水たまり
 来年は 俺に任せる 編集長 ユウレイ
 原稿の 依頼×切 三日サバ ドクターストップ



品質 ISO9001・環境 ISO14001 W 認証取得

佐川印刷株式会社

私たちは、個人情報保護を確実に実行し、
お客さまへ安心を提供してまいります。



カラー・モノクロ
どちらでも!

少ない部数の印刷は
佐川印刷にお任せ

お手頃価格で
高品質を実現

本 社 / 松山市問屋町6番21号
TEL (089) 925-7471(代)
FAX (089) 925-7464
久万ノ台工場 吉田工場 宇和島営業所
大洲営業所 西予営業所 東京営業所

JBP Japan Business Partner

- 税務・決算・会計・財務・経理に関する業務
- 独立・開業支援に関する業務
- 経営相談・コンサルティング
- 資産税関連業務 ■ 各種セミナー開催

税理士法人

ジャパン ビジネス パートナー

税理士 三好 豊
税理士 兵頭 弘章



〒790-0052 愛媛県松山市朝生田町6丁目4-32
TEL089-941-0666 FAX089-941-9966
<http://www.tkcncf.com/jbp>

ソフトウェア開発

業務系ソフトの開発
(主に医療系システムの開発)

ソフトウェア開発の業務請負

パソコン及び周辺機器の各種設定

有限会社アクトシステム

本 部 : 愛媛県松山市土居田町771-9
TEL 089-974-9123 FAX 089-974-9391
開発室 : 愛媛県松山市久米窪田町337-1 テクノプラザ313号
TEL / FAX 089-960-1209
<http://www.act-world.com>
E-mail info@act-world.com

Paper Chase

紙の専門店

- 各種、各サイズの紙・封筒
- 箱などのオリジナル紙製品
- 紙の最新情報
- 切、貼、抜、組、折などの紙加工
- ノベルティ&販促物への名入れ加工



〒791-8036 松山市高岡町455-1 えひめ洋紙内
tel 089-973-9200
E-mail ecom@ehime-p.co.jp

永遠の幸せをお手伝い



東京第一ホテル松山

〒790-0006 松山市南堀端町6-16
TEL 089-947-4411 <http://www.td-mat.co.jp>

安心で選ばれています。
中古車はオートハウスへ。



AUTO HOUSE

www.autohouse.jp

JR松山駅から「スマッシュ」で届く距離

ウィンテニス



WIN TENNIS

http://wintennis.jp

THE LAND

その地盤に
安心はありますか？

「THE LAND」は従来の地盤保証制度とは違い、建設会社も被保険者となる最先端の地盤と建物の総合保証です。

- 生産物賠償責任保険
- 地盤損壊担保特約付
- 引受保険会社 AIU保険



NPO住宅地盤品質協会加盟

有限会社 東昇技建工業
住宅地盤事業部

〒791-1112 松山市南高井町1939-5

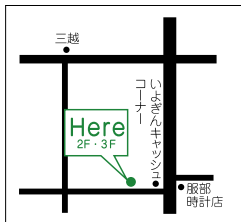
TEL089-970-6814

http://www18.ocn.ne.jp/~tousyou/



食楽癒

ボンボワ有限公司



〒790-0002
松山市二番町3丁目8-22 2F
TEL・FAX / (089)947-3321



〒799-2437
松山市夏目甲79番地パルティフジ夏目内
TEL・FAX / (089)994-0900

Clear of Nikki



技術と信頼で快適な環境づくり

空調・冷凍冷蔵設備・エレベーターの設計・施工・メンテナンス

日立特約店



日機愛媛株式会社

本社 〒791-0054 松山市空港通4丁目3-43
TEL 089(972)1091 FAX 089(973)1886

南予営業所 宇和島市高串3-10-1
TEL 0895(25)5211 FAX 0895(25)5884

http://www.nikkiehime.jp

「もの」と「想い」に出会える場所。
This Place where it can meet the one and our desire.

Y,s Deco
ZAKKA

【本店】

松山市来住町801-1ヤスケン本社ビル1F
TEL/FAX 089-976-5018

【朝生田店】

松山市朝生田町5-8-16 ジョーブラ西隣
TEL/FAX 089-987-6667

http://www.yasuke.jp/ysdeco.html

日本の材木屋さんを元気にする

環境ビジネス 古材

古民家・古材・古民具
『買います』『売ります』

全国32都府県
F C展開中

古材倉庫

環境循環型ビジネスモデル企業 株式会社ヴィンテージアイモク
愛媛県松山市南吉田町2821-4
Tel. 089-968-7768 Fax. 089-968-7787
http://www.k-aimoku.co.jp



第26回愛媛県大会 愛媛県商工会議所青年部連合会

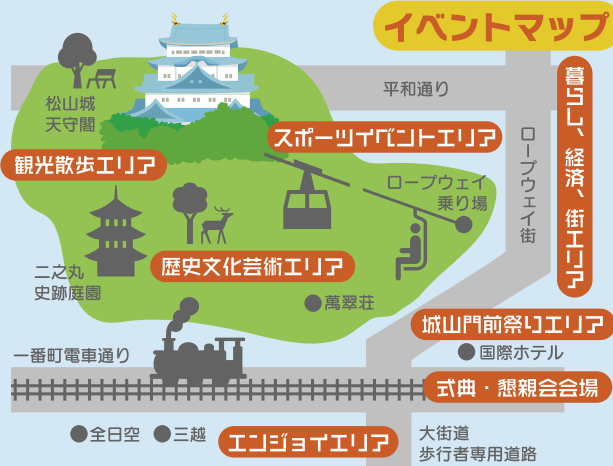
E1 FUTURE 2007.6.9 CREATION

YEG MATSUYAMA GENERAL MEETING

「愛媛を1番にしたい！」未来創造サミット

子規先輩、僕たちは
自分に妥協しません
創りたい未来の為に
志す想いは坂の上に

イベントマップ



※調整中の為、イベント内容に一部変更のある場合があります。

■記念事業 『あきないの街/故里感謝祭』

松山中心街・松山城・城下お膝元「ロープウェイ街」・周辺公共施設などを全面使用!! 随所にて、一斉に複数展開する、かつてない壮大なイベント事業を開催・運営致します。レトロでアートな町並みの中に、愛媛の内なる豊かさを発見・発信する『商業の街・祭』を演出展開し、未来の私達が生きていく街、人、そして心を創造して行く記念事業です。こだわりの県下特産物などの露天出店ストリートや、地元スポーツ選手との親交・愛媛県出身ミュージシャンのライブ・県下伝統芸能、芸術家の方々とのセッション・情緒あふれる着物姿イベント、その他にもゲーム・講演会などなど、盛り沢山のサプライズをご用意致しまして、みなさまをお待ちしております。



2010年 初春 日本商工会議所青年部

第29回全国大会 誘致決定!!